

HP
KAYAK



HP Kayak XM600 ミニタワー Workstations
トラブルシューティングガイド



ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは、本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。当社は、本書に関するすべての権利を所有しています。本書の一部または全部を書面による事前の許可なくして復写、転載、翻訳することは禁止されています。

Adobe™ および Acrobat™ は、Adobe Systems Incorporated. の商標です。

McAfee VirusScan® は、Network Associates, Inc. の登録商標です。

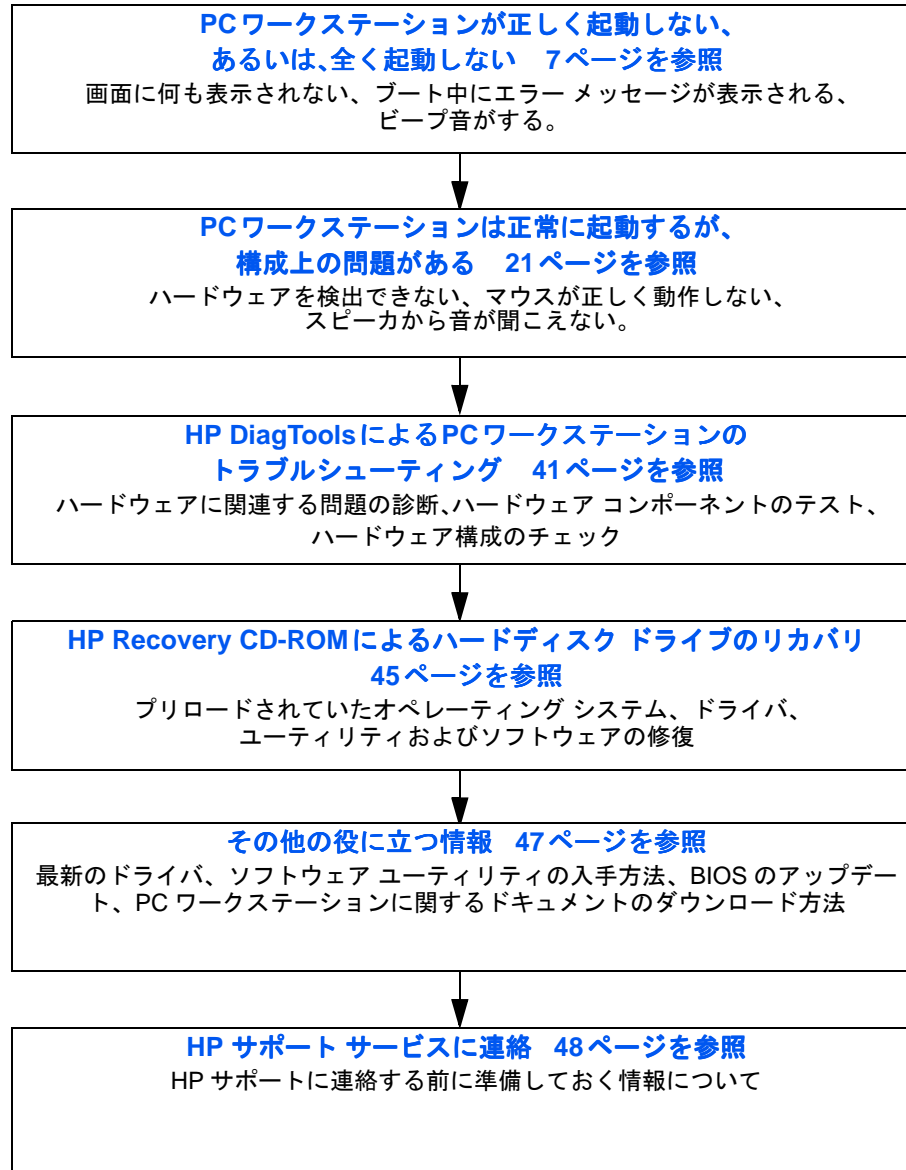
Microsoft®、MS®、MS-DOS®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Pentium® は、Intel Corporation. の登録商標です。

Hewlett-Packard France
Business Desktop Division (BDD)
Outbound Marketing Communications
38053 Grenoble Cedex 9
France

© 1999 Hewlett-Packard Company

目次



はじめに

このマニュアルは、次のお客様を対象にしています。

- PCワークステーションに関する問題を解決しようとされる方。
- より詳しい情報やサポートの入手方法を知りたい方。

お客様のPCワークステーションのセットアップや使用方法については、お使いのPCワークステーション付属の『ユーザ ガイド』をご参照ください。また、HP Webサイトからも入手できます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

お使いのKayakのタイプは？

HP Webサイトにアクセス、またはHPサポートにお問い合わせの前に、お使いのPCワークステーション側面の識別ラベルで、型式番号とシリアル番号をご確認ください。

重要な警告事項

カバーの取り外しおよび取り付けについて

警告

安全のため、カバーを取り外す場合は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続を切り離してください。必ず、PCワークステーションにカバーを取り付けてから、電源スイッチを入れてください。

安全性についての情報

警告

バッテリーは誤ってセットすると破裂する恐れがあります。安全のため、バッテリーを分解したり、穴を開けたり、火中に投げたりしないでください。バッテリーはバッテリーの製造元が推奨している種類のものと交換してください。本PCに装着されているバッテリーは、重金属を含有しないリチウム電池です。ただし、環境保護のため、使用済みのバッテリーを廃棄する際は、一般のごみと一緒にしないでください。使用済みバッテリーは、バッテリーを購入された小売店、PCを購入された販売店、または、当社など、適切な方法でリサイクルまたは廃棄が可能なところにご返却ください。電池は、無料で回収されます。

モデムをご使用の場合:

雷が発生しているときに電話コードの配線は行わないください。水気のある場所で電話ジャックの設置を行う場合、ネットワーク インタフェースの接続を必ず切ってから行ってください。ネットワーク インタフェースに接続したままの状態では芯線の露出した電話線や端子には触らないでください。電話線の設置および変更を行う際は注意を払ってください。雷が発生しているときに電話回線を使用しないでください(コードレス電話は除く)。落雷による感電の原因になります。

ガス漏れが発生しているとき、発生現場付近での電話通報は避けてください。通信用ボードに触ったり、取り外す場合は、必ず電話回線コネクタを取り外してから行ってください。

重要な警告事項

PCワークステーションが正しく起動しないとき

	症状	問題の種類	
ケース1	電源スイッチを入れても、PCワークステーションはまったく動作する気配がない。 <ul style="list-style-type: none">• モニタに何も表示されない。• ハードディスク ドライブやファンの動作音がしない。• MaxiLifeステータス パネルが明るくならない。	<ul style="list-style-type: none">• PCワークステーションが電源に正しく接続されていない可能性がある。	9ページを参照。
ケース2	電源スイッチを入れると、PCワークステーションがブートしているように見えるが、モニタには何も表示されない。 <ul style="list-style-type: none">• ハードディスク ドライブとファンの動作音は聞こえる。• ステータスLEDの色は緑。• MaxiLifeのステータス パネルに、「笑顔のマーク(☺)」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">• モニタが正しく接続されていないか、モニタの電源スイッチが入っていない可能性がある。	11ページを参照。
ケース3	電源スイッチを入れても、PCワークステーションがブートしない。 <ul style="list-style-type: none">• ハードディスク ドライブとファンの動作音は聞こえる。• モニタには何も表示されない。• ステータスLEDの色は赤(点燈または点滅)。• MaxiLifeのステータス パネルに、「泣き顔のマーク(☹)」のマークといっしょにエラー メッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none">• HP MaxiLifeでハードウェア構成エラーを検出。PCワークステーション内部の、コンポーネントが正しく接続されていない可能性がある。	13ページを参照。
ケース4	電源スイッチを入れると、PCワークステーションがブートを開始し、その動きがモニタに表示される。 <ul style="list-style-type: none">• ブート処理に失敗し、エラー メッセージが表示される。• ステータスLEDの赤が点滅。• ビープ音が鳴る。• MaxiLifeのステータス パネルに「泣き顔のマーク(☹)」とPOSTエラー メッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none">• POST(パワーオンセルフテスト)で構成エラーが検出される。	16ページを参照。
ケース5	電源スイッチを入れると、PCワークステーションがブートを開始し、はじめはモニタに何か表示されるが、その後、次の症状が現れる。 または <ul style="list-style-type: none">• 画面に何も表示されなくなる。• イメージに乱れが生じる。	<ul style="list-style-type: none">• ビデオ カードが正しく入っていないか、または正しく構成されていない可能性がある。	19ページを参照。

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

参考情報	
HP MaxiLifeハードウェアを使ったプレブート チェックのトラブルシューティング	13ページを参照。
メモリ拡張カードに搭載されたメモリのチェック	15ページを参照。
EMU(Error Messageユーティリティ)の説明	16ページを参照。
ビーブコードの一覧。	18ページを参照。
BIOS問題のトラブルシューティング <ul style="list-style-type: none">• BIOSのアップデート。• デフォルト設定に復帰。• CMOSのクリア。• BIOSのリカバリ(クライシス モード)。	33ページを参照。 33ページを参照。 34ページを参照。 35ページを参照。
システム ボード スイッチ。	36ページを参照。
HPセットアップ プログラムの使用法。	37ページを参照。
HP DiagToolsを使ったハードウェアのトラブルシューティング	41ページを参照。



ケース1－全く動作しない

電源スイッチを入れると、PCワークステーションはブートしているように思われるが(ハードディスクドライブとファンの動作音がし、ステータスLEDの色は**赤**)、モニタには何も表示されない。

- ・ モニタに何も表示されない。
- ・ ハードディスクドライブやファンの動作音がしない。
- ・ MaxiLifeのステータス パネルが明るくならない、またはメッセージが表示されない。

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイとPCワークステーションの電源スイッチを必ずオフにします。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを接続します。PCワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
PCワークステーションが起動しない－ステータスLEDインジケータも点灯しない。	MaxiLifeのステータス パネルにアクセスできること。	液晶表示の制御ボタンの1つを押して、MaxiLifeを起動します。立ち上がったら、電源コードを接続します。立ち上がらない場合には、以下のトラブルシューティングのステップにしたがいます。
	電源コードが正しく接続されていること。	電源コードを接地端子付きの電源コンセントとPCワークステーションに接続する。
	電源コンセントが通電していること。	電源コンセントに照明器具などをつなぎ、点灯するかどうか確認する。
	電圧スイッチ(PCワークステーションの背面にある) が正しく設定されていること。	1 電源コードを外す。 2 正しい設定を選択する。 3 再度電源コードを接続する。 4 PCワークステーションを起動する。
PCワークステーションがそれでも起動しない場合		
	確認事項...	確認方法...
	内部デバイスで問題を引き起こしているものがないこと。	1 システム ボードを除くすべての内部デバイスから内部の電源コネクタを外す。 2 電源コードを外す。 3 電源コネクタを一つずつ内部デバイスに接続して、そのデバイスに障害がないかを確認する。 4 デバイスに障害が見つかった場合は、HPサポート、または、HP 指定販売店に連絡します。

「ケース1－全く動作しない」は、次頁に続く⇒

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

ケース1ー 全く動作しない

症状...	確認事項...	確認方法...
PC ワークステーションがそれでも起動しない場合		
	電源ユニットには問題がないかを確認する。	<ol style="list-style-type: none">1 正常に動作することが確かめられている同一モデルのPCの電源ユニットと交換する。2 これによりそのPCワークステーションが起動する場合は、HPサポート、または、HP指定販売店に連絡します。電源ユニットの交換が必要。
問題が続くようなら、HPサポート、または、HP指定販売店に連絡します。		



ケース2ー モニタに何も表示されない

電源スイッチを入れると、PCワークステーションがブートしているように見える（ハードディスクドライブとファンの動作音がし、ステータスLEDの色は緑）が、モニタには何も表示されない。

- ハードディスクドライブとファンの動作音は聞こえる。
- ステータスLEDの色は緑。
- MaxiLifeのステータスパネルに、「笑顔のマーク」が表示される。

電源オンスイッチを押して、そのまま5秒間保ち続けます。

すると、PCワークステーションの電源がオフになります。

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイとPCワークステーションの電源スイッチを必ずオフにします。

電源コード、および、アクセサリケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリケーブルを接続します。PCワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
電源のインジケータと、ハードディスク動作のインジケータが点灯するが、画面には何も表示されない。	ディスプレイの電源スイッチがオンになっている (LEDが点灯している) こと。	LEDの説明は、モニタのマニュアルを参照。
	モニタの電源コードが正しく接続されていること。	電源コードが接地端子付きの電源コンセントとモニタに差し込まれていることを確認する。
	モニタのコンセントに通電されていること。	その電源コンセントに照明器具などをつなぎ、点灯するかを確認する。
それでもモニタに何も表示されない場合、		
	確認事項...	確認方法...
	モニタの明るさとコントラストが正しい設定されていること。	必要に応じて、モニタのマニュアルを参照。
	モニタ自体が故障していないこと。	<ol style="list-style-type: none"> 1 正常に動作することが確かめられている同一モデルのPCワークステーション用モニタと交換する。 2 このモニタが動作する場合は、HPサポート、または、HP指定販売店に連絡します。問題のモニタの交換が必要。
	ビデオケーブルのピンが壊れていないかを確認する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源スイッチをオフにして、電源コードを外します。 2 ビデオケーブルを外し、曲がったピンがあれば、真っ直ぐにする。 3 ビデオケーブルを再度接続します。 4 モニタの電源スイッチをオンにし、動作を確認する。

「ケース2ー モニタに何も表示されない」は、次頁に続く⇒

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

ケース2ー モニタに何も表示されない

症状...	確認事項...	確認方法...
BIOS (Basic Input Output System) をアップデートする必要がある。		ブート用 フロッピーを作成して、BIOS を更新する。33 ページを参照。 あるいは、BIOS に異常がある場合は、BIOS のリカバリ方法が指示されている 35 ページを参照。
デュアル モニタまたはマルチ モニタの構成に問題がある場合		
	デュアル モニタ ビデオ カードを搭載しているが、モニタが1台のみの場合、モニタが [出力 1] に接続されていることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ カードの出力のラベルを見て確認する。
	2枚以上のビデオ カードを搭載しているのに、モニタが1台のみの場合、モニタが出力に接続されていることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 2枚目のビデオ カードのビデオ出力のいずれかにモニタを接続する。
1 台のモニタだけに Windows が表示される。	ドライバがマルチ モニタに正しく構成されていることを確認する。	<ol style="list-style-type: none"> ビデオ カードの1番上の、1のラベルが貼られたコネクタを1台目のモニタに接続する。 2のラベルが貼られた2つ目のコネクタを2台目のモニタに接続する。 PC ワークステーションをブートする前に、2 台のモニタのスイッチをオンにする。
1 台のモニタには何も表示されない。	マルチ モニタ構成であること、解像度が正しく定義されていることを確認する。	<ol style="list-style-type: none"> [スタート]-[設定]-[コントロール パネル] から[ディスプレイ プロパティ]にアクセスする。 マルチ モニタ オプションを選択し、必要なモニタ数と解像度を構成する。

注記

Windows のブート中に、モニタに何も表示されなくなったり、イメージが乱れる場合は、19 ページの「ケース5ー画面に表示されない、または、イメージの乱れが見られる場合」を参照。

ケース3－ハードウェア構成エラーが検出される



電源スイッチを入れると、ハードディスク ドライブやファンの動作音はするが、PCワークステーションがブートされない。モニタには何も表示されないままで、ステータスLEDの色は赤。

- ハードディスク ドライブとファンの動作音が聞こえる。
- モニタには何も表示されない。
- ステータスLEDの色は赤の点燈または赤の点滅。
- MaxiLifeのステータス パネルには、「泣き顔のマーク」といっしょにエラー メッセージが表示される。

電源オンスイッチを押し、そのまま約5秒間保ち続けます。
PCワークステーションの電源がオフになります。



注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにします。
電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを接続します。PCワークステーションが正しくブートされることを確認します。

HP MaxiLife を使ったプリ ブートエラーのトラブルシューティング

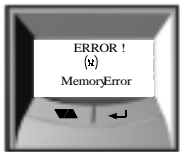
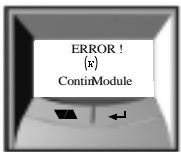
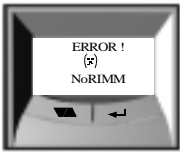
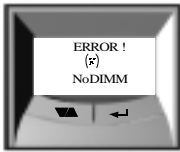

注記

システムの電源がオフになっても、MaxiLifeハードウェア モニタリング装置に電源を供給する電源コードは、PCワークステーションにつないだままにしておく必要があります。

症状 ...	確認事項 ...
パワーオンセルフテスト (POST) で、LCD ステータス パネルにプロセッサテスト エラーが表示され、ステータス LED は赤の点滅。	
	<ul style="list-style-type: none">• プロセッサが搭載されていること。• シングル プロセッサ システムで、終端カードがプロセッサ スロット 2 に搭載されていること。
パワーオンセルフテスト (POST) で、LCD ステータス パネルにプロセッサテスト エラーが表示され、ステータス LED は赤の点燈。	
	<ul style="list-style-type: none">• プロセッサが、プロセッサ スロットに正しく搭載されていること。• 搭載された 2 基のプロセッサのキャッシュ サイズが同じであること。

「ケース3－ハードウェア構成エラーが検出される」は、次頁に続く⇒

PC ワークステーションが正しく起動しないとき
ケース 3 – ハードウェア構成エラーが検出される

症状 ...	確認事項 ...	症状 ...	確認事項 ...
パワーオン セルフ テスト (POST) でメモリ テスト エラーが表示され、ビープ音が鳴る (1-3-3-1)。			
	<ul style="list-style-type: none"> メモリが正しく搭載されているか。 メモリ モジュールが2つのクリップでしっかりと固定されているか。 RDRAM モジュールが、SDRAM メモリ拡張カード用 (プロセッサから最も離れた) ソケットに搭載されていないか。 		<ul style="list-style-type: none"> コンティニューイティ モジュールが正しく搭載されているか、または、その有無。
	<ul style="list-style-type: none"> RDRAM モジュールが RIMM ソケットに正しく搭載されているか。 RDRAM モジュールが不足していないか。 		<ul style="list-style-type: none"> SDRAMモジュールがDIMM ソケットに正しく搭載されているか。 SDRAM モジュールが不足していないか。
次のページのメモリ搭載表を参照。			
パワーオン セルフ テスト (POST) にビデオ テスト エラーが表示され、ビープ音が鳴る (1-2)。			
症状 ...	確認事項 ...		
	ビデオカードについて、次の点を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 搭載の有無 AGP コネクタに正しく取り付けられているか ケーブルが正しく接続されているか 不良品でないか 		
考えられる原因 ...	確認事項 ...		
<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが対応するシステム ボード コネクタに合わない。 	ケーブルが正しく接続されているか。 必要に応じて、システム ボードのレイアウトについて、カバー内側のサービス ラベルを参照。		
<ul style="list-style-type: none"> システム ボードのスイッチが正しく設定されていない。 	正しい設定方法については、カバー内側のサービス ラベル、または、36 ページの「システム ボード スイッチ」を参照。		

「ケース 3 – ハードウェア構成エラーが検出される」は、次頁に続く ⇒

メモリの搭載

注記

お使いのPCワークステーション モデル用のHPメモリ モジュールをご使用ください。また、そのPCワークステーション向けのアクセサリについてお知りになりたい場合は、HP Accessories Webサイト <http://www.hp.com/go/pcaccessories> を参照してください。

	オンボード RIMM 用 RDRAM モジュール	SDRAM 拡張カード用 SDRAM モジュール
ソケット数	RDRAM モジュールをサポートする 2 個のソケット。システム ボード上に 3 個目のソケットがある場合、このソケットは、SDRAM 拡張カード専用に予約されている。	SDRAM モジュールをサポートする 2 個の DIMM ソケット。
搭載の順序	<ul style="list-style-type: none"> RDRAMモジュールが1個だけ搭載されている場合は、必ずプロセッサに最も近いメモリ ソケット (RIMM0) に搭載する。 RDRAMモジュールが2個搭載されている場合は、必ずプロセッサに最も近い2つのメモリ ソケットに搭載する。 	<ul style="list-style-type: none"> SDRAMモジュールが1個だけ搭載されている場合は、どのスロットに搭載してもよい。 サイズの異なるSDRAMモジュールが2個搭載されている場合は、必ず容量の大きいモジュールをシステム ボードから最も近いソケットに搭載する。
未使用のソケット	<p>RIMM ソケットは、空のままにしておいてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> RIMM1 ソケットが未使用の場合は、必ず RDRAM コンティニュイティ モジュール を取り付ける。 (メモリ拡張カードに予約された) 3 つ目のソケットには、必ず RDRAM ターミネータ モジュール を取り付ける (下の注記を参照)。 	未使用のソケットは、空のままにする。コンティニュイティ モジュールまたはターミネータ モジュールは不要。
システム ボード上の RIMM0 および RIMM1 ソケット		システム ボード上の 2 つのメモリ ソケット RIMM0 と RIMM1 には、 必ず コンティニュイティ モジュールを取り付ける。

注記

RDRAM ターミネータ モジュールは、ロードされたコンポーネントにより、RDRAM コンティニュイティ モジュールから区別できます。RDRAM コンティニュイティ モジュールには、コンポーネントがありません。

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

ケース4 – ブート処理に障害がある

ケース4 – ブート処理に障害がある



電源スイッチを入れると、PCワークステーションはブートを開始し、その動きがモニタに表示されるが、その後エラーメッセージが表示されブート処理に失敗する。ステータスLEDが赤く点滅し、ビープ音がする場合もある。構成エラーが検出された。

- エラーメッセージが表示されて、ブートが失敗する。
- ステータスLEDが赤色点滅する。
- ビープ音が鳴る。
- MaxiLifeのステータスパネルには、「泣き顔のマーク」といっしょにPOSTエラーメッセージが表示される。

注記

カバーを取り外す前に、電源オフ用のスイッチを5～6秒押し続け、ディスプレイとPCワークステーションの電源スイッチをオフにします。

電源コード、および、アクセサリケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリケーブルを再び接続します。PCワークステーションが正しくブートされることを確認します。

Error Message ユーティリティ (EMU)

ブート処理中に、POST (パワーオンセルフテスト) でエラーが発生した場合には、ビープ音が2回鳴った後、Error Setup Managerが、検出された1つまたは1つ以上のエラーにアクセスします。そして、4桁のコードとテキストメッセージによるEMUエラーが、モニタ画面とMaxiLife LCDパネルに表示されます。

注記

モニタが使えない場合は、MaxiLifeの液晶パネルにも短いエラーメッセージが表示されます。

詳細については、「ENTER」キーを押すことによりアクセスできます。障害となった理由の詳しい説明と、その問題の解決方法が表示されます。以下の例は、種々のタイプのエラーカテゴリを示しています。

Category #1:	If an error can be bypassed with <F1> or solved through Setup, the POST should prompt:
ERROR	
0070	CPU Terminator Card Error
	Press <Enter> to view more information about error
	<F1= Continue>, <F2= Setup>

Category #2:	If the error is only a warning (i.e. key stuck), the POST should prompt:
WARNING ¹	
00100	Keyboard Error

1. 5秒間のタイムアウト後、すぐにシステムがブートを再開します。

Category #3:	If the error is serious, the POST should prompt:
00xx	The BIOS detected a serious problem that prevents your PC from booting
	Press <Enter> to view more information about error

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

ケース4 - ブート処理に障害がある

ブート中に、ビープ音が鳴る場合

POST中に、PCワークステーションを起動できないようなエラーが発生した場合、システムは画面左上隅にエラー メッセージを表示する前にビープ音を発します。システムがエラー メッセージを表示できない場合、ビープ音はエラーの確認に有効です。

ビープ パターン	ビープ コード	数値 コード	解説	推奨する対処法
— — — — —	1-2-2-3	16h	BIOS ROM のチェックサム エラー	HP サポートまたは販売店に、システム ボードが不良であることを連絡する。
— — — — —	1-3-1-1	20h	DRAM リフレッシュ テスト エラー	メモリが正しく搭載されているか確認する。それでもなおエラーが発生する場合は、モジュールを交換する。
— — — — — -	1-3-1-3	22h	8042 キーボード コントローラ テスト エラー	HP サポートまたは販売店に、システム ボードが不良であることを連絡する。
— — — — —	1-3-3-1	28h	RDRAM の初期化に失敗	メモリまたはコンティニューイティ モジュールが搭載されているか確認する。
— — — — — —	1-3-4-1	2Ch	アドレス ライン ¹ 上で RAM エラー	メモリが正しく搭載されているか確認する。それでもなおエラーが発生する場合は、モジュールを交換する。
— — — — — --	1-3-4-3	2Eh	メモリ バス 1 の低バイトのデータ ビット 上の RAM エラー	メモリが正しく搭載されているか確認する。それでもなおエラーが発生する場合は、モジュールを交換する。
— — — — —	1-4-1-1	30h	メモリ バス 1 の高バイトのデータ ビット 上の RAM エラー	メモリが正しく搭載されているか確認する。それでもなおエラーが発生する場合は、モジュールを交換する。
-- — — — —	2-1-2-3	46h	ROM 著作権通知確認エラー	HP サポートまたは販売店に、システム ボードが不良であることを連絡する。
-- — — — —	2-2-3-1	58h	突然のテスト中断	HP サポートまたは販売店に、システム ボードが不良であることを連絡する。
— --	1-2	98h	ビデオ構成エラー、またはオプション ROM のチェックサム エラー	集積ビデオ上の ROM、アドオン ビデオ ボード、または SCSI カード上の ROM の問題により発生した可能性がある。 問題のコンポーネントを販売店に連絡する。

1. HP 製でないメモリ モジュールはサポートされていません。必ず、HP 製のメモリ モジュールをお使いください。

ケース5 - 画面に何も表示されなくなるか、またはイメージに乱れが生じる

電源スイッチを入れると、PCワークステーションがブートを開始し、はじめはモニタに何か表示されるが、その後、画面に何も表示されなくなるか、またはイメージに乱れが生じる。

- 画面に何も表示されなくなる。
または
- イメージに乱れが生じる。

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチを必ずオフにします。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PCワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状 ...	確認事項 ...	確認方法 ...
PC ワークステーションは正しくブートされるが、オペレーティング システムのロードが開始されると、画面に何も表示されなくなるか、または、イメージに乱れが生じる。	モニタが、解像度と選択されたリフレッシュ レートをサポートしていることを確認する。この種の問題は、PC ワークステーションがモニタ 1 台で構成されていて、そのモニタを別のモニタに交換する場合に発生する可能性がある。	<ol style="list-style-type: none"> 1 VGA モードで PC ワークステーションをリブートする。[スタート]-[設定]-[コントロール パネル]から[画面のプロパティ]にアクセスする。 2 ディスプレイの解像度とリフレッシュの値を、使用中のモニタで扱える設定に変更する。
それでもまだ、画面が表示されなかったり、イメージに乱れが生じる場合		
	確認事項 ...	確認方法 ...
	ビデオ カードが、システムボード上のソケットに正しく挿入されていること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 上記の注記の指示にしたがって、カバーを取り外し、PC ワークステーションの電源スイッチをオフにする。 2 AGP カードを取り外し、再びそのカードをソケットに慎重に挿入し直す。 3 カバーを取り付け、再度電源コードとアクセサリ ケーブルを接続する。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認する。
	ハードディスク ドライブが正しく構成されていること。 ケーブルが正しく接続されていること。	詳しくは、26 ページを参照。
	ハードディスク ドライブにアクセスできること。	HP DiagTools を使ったトラブルシューティングについては、41 ページの説明を参照。
それでもまだ、画面が表示されなかったり、イメージに乱れが生じる場合		

PC ワークステーションが正しく起動しないとき

ケース5 - 画面に何も表示されなくなるか、またはイメージに乱れが生じる

症状 ...	確認事項 ...	確認方法 ...
	ビデオ ドライバがこわれていないか、または、間違っ てインストールされていないか。	ビデオ カードに対応する最新ドライバをインストールする。 次の Kayak サポート Web サイトからダウンロード できます。 http://www.hp.com/go/kayaksupport にア クセスし、その中の HP Kayak XM600 PC ワーク ステーションを参照。

構成の問題

PCワークステーションを正常にブートできたが、PCワークステーションの
いろいろな部品を構成するときに問題がある場合。

症状	問題の種類	
PCワークステーションがブートを開始したが、POST(パワーオンセルフテスト)エラーメッセージが画面に表示される。	• CMOSテスト エラー。	23 ページを参照。
	• キーボードまたはマウスが正しく機能していない。	24 ページを参照。
	• フロッピーディスク ドライブのLEDが点灯しない。	25 ページを参照。
	• ハードディスク ドライブ、DVD、CD-RW、または、CD-ROM ドライブにアクセスできない。	26 ページを参照。
	• シリアルまたはパラレル ポートが正しく構成されていない。 • デバイスのケーブルが正しく接続されていない。 • デバイス ドライバがインストールされていないか、または正しくインストールされていない。	27 ページを参照。
PCワークステーションの電源をオフにできない。		28 ページを参照。
パスワードを忘れてしまった。		28 ページを参照。
PCワークステーションのオーディオ機能に問題がある。	• どんなアプリケーションを実行しても、音が出ない • CD-ROMを再生しても、音が出ない。 • デジタルサウンドの出力ができない。 • マイクからのオーディオ入力レベルが低すぎるか、または無入力。 • 録音中にPCワークステーションがハングする。	29 ページを参照。
PCワークステーションにソフトウェアの問題がある。	• ソフトウェア アプリケーションを実行できない。 • 日付、時刻が間違っている。	30 ページを参照。
PCワークステーションの構成設定がたびたび失われる。		31 ページを参照。
ユーロ シンボルを使用する上で問題がある。		32 ページを参照。

構成の問題

参考になる情報	
BIOS 問題のトラブルシューティング	
• BIOS のアップデート。	33 ページを参照。
• デフォルト設定に復帰。	33 ページを参照。
• CMOS のクリア。	34 ページを参照。
• BIOS のリカバリ (クライシス モード)。	35 ページを参照。
システム ボード スイッチ。	36 ページを参照。
HP セットアップ プログラムの使用法。	37 ページを参照。
問題のあるドライブのトラブルシューティング	
• ハードディスク ドライブ。	38 ページを参照。
• CD-ROM、DVD、または、CD-RW ドライブ	39 ページを参照。
HP DiagTools によるハードウェアのトラブルシューティング	41 ページを参照。
ハードディスク ドライブの内容のリカバリ	45 ページを参照。

CMOSテスト エラーがある場合

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにしてください。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
POSTでCMOSテスト エラーが表示される。CMOSは、PCワークステーションの電源をオフにしたときに、インストールされているコンポーネントの記録を保持するためのチップ。	内蔵電池が機能していること。	<ol style="list-style-type: none">1 PCワークステーションの時刻を正しく設定する (オペレーティング システム マニュアルを参照)。2 電源スイッチをオフにして、PCワークステーションの電源コードを約1時間外しておく。3 PCワークステーションを再起動し、時刻が正しいかどうかを確認する。4 時刻が正しくなければ、電池を新しいものに交換する。お使いのPCワークステーションの『ユーザガイド』の第2章を参照。
	BIOSが最新バージョンになっていること。	BIOSを最新バージョンに更新する必要がある場合は、KayakサポートWebサイトからダウンロードできます。 http://www.hp.com/go/kayaksupport にアクセスし、その中のHP Kayak XM600 PCワークステーションを参照。
	システム ボードが機能していること。	システム ボードを、正常に動作することが確かめられている同一モデルのPCワークステーションから外した機能確認済みのボードと交換。
問題が続くようなら、HPサポート、またはHP指定販売店に連絡します。		

構成の問題

キーボードにテスト エラーがある場合

キーボードにテスト エラーがある場合

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにしてください。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
POSTでキーボードのテスト エラーが表示される。	キーボードやマウスのケーブルが正しく接続されていること。	ケーブルを、PCワークステーションの背面にある所定のコネクタに接続する。これらのコネクタは、カラー コード表示されているので簡単に見分けられます。
	キーボードはきれいに掃除され、キーが押し込まれたままになっていないこと。 マウスはきれいに掃除されていること。	<ul style="list-style-type: none">キーの高さがすべて同じか、押し込まれたままになっているキーがないかを確認する(キーボード)。マウス ボールとセンサをきれいにする。
	キーボード/マウスが機能していること。	正常に動作することが確認されたキーボード/マウスと交換する。
PCワークステーションはブートされるが、まだ問題がある場合...		
BIOS(Basic Input Output System)のアップデートが必要かもしれない。		起動ディスクを作成して、BIOSをアップデートする。36 ページを参照。
キーボードまたはマウスがそれでも機能しない場合。		
	確認事項...	機能していない場合...
	システム ボードが機能していること。	システム ボードに問題があると思われる。HP サポート、または、HP 指定販売店に連絡します。
問題が続くようなら、HP サポート、または、HP 指定販売店に連絡します。		

フロッピーディスク ドライブ にテスト エラーがある場合

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにしてください。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
POSTでフロッピーディスク ドライブ にテスト エラーが表示される。	セットアップ プログラムで、ドライブが正しく構成されていること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 メッセージ「Press F2 to Enter Setup」(F2を押すと、セットアップに入ります)が表示されたら、[F2]キーを押す。 2 セットアップ アドバンスメニューで、フロッピーディスク コントローラ オプションが有効になっていることを確認する。
	ドライブ ケーブルが正しく接続されていること。	フロッピーディスク ドライブの電源ケーブルとデータ ケーブルを正しく接続する(PCワークステーションの『ユーザ ガイド』の第2章を参照)。
	ドライブ ケーブルが機能していること。	フロッピーディスク ドライブ ケーブルを、確認済みの同一モデルのPCワークステーションから外したケーブルと交換する。
	フロッピーディスクが機能していること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 フォーマット済みディスクを使用し、正しく挿入されていることを確認する。 2 ディスケット クリーニング キットを使って、フロッピーディスク ドライブをきれいにする。 3 機能することがわかっているフロッピーディスクを挿入し、機能するかどうかを確かめる。
ドライブがそれでも機能しない場合...		
	確認事項...	機能していない場合...
	システム ボードが機能していること。	システム ボードに問題があると思われます。HPサポート、またはHP 指定販売店に連絡します。
問題が続くようなら、HPサポート、またはHP 指定販売店に連絡します。		

構成の問題

ハードディスク、DVD、CD-RW、またはCD-ROMに テスト エラーがある場合

ハードディスク、DVD、CD-RW、またはCD-ROMに テスト エラーがある場合

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにしてください。
電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
POSTでハードディスク、DVD、またはCD-ROMドライブにテストエラーが表示される。	ドライブは、セットアップ プログラムで、正しく構成されていること。41 ページ、または39 ページを参照。	1 PCの電源スイッチを一旦オフにしてから、オンに入れる。 2 メッセージ「Press F2 to Enter Setup」(F2を押すと、セットアップに入ります)が表示されたら、[F2]キーを押す。 3 ドライブが有効で、正しいタイプが選択されていることを確認する。
	ドライブケーブルが正しく接続されていること。	1 ドライブケーブルが正しく接続されていることを確認する (PCワークステーションの「ユーザガイド」の第2章を参照)。 2 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源スイッチをオンにして、機能することを確認する。
	ドライブケーブルが機能していること。	1 ドライブケーブルを、確認済みの同一モデルのPCワークステーションから外したケーブルと交換する。 2 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源スイッチをオンにし、機能することを確認する。
ドライブがそれでもまだ機能しない場合は...		
	DiagTools を実行して、ハードウェア診断テストのどれかを実行する。42 ページを参照。	
	確認事項...	確認方法...
	ドライブは、HP DiagTools で機能すること。	1 ドライブを同じモデルの確認済みのPCワークステーションから外したドライブと交換する。 2 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源スイッチをオンにし、機能することを確認する。
ドライブがそれでもまだ機能しない場合は...		
BIOS(Basic Input Output System)のアップデートが必要かもしれない。		起動ディスクを作成して、BIOSをアップデートする。36 ページを参照。
	確認事項...	確認方法...
	システム ボードが機能していること。	1 システム ボードを、同一モデルのPCワークステーションから取り外した機能確認済みのボードと交換する。 2 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源コードを再び接続し、PCワークステーションとドライブが機能することを確認する。 3 ドライブが機能する場合は、HPサポート、またはHP指定販売店に連絡して、詳細なトラブルシューティング情報をお尋ねください。
POST 期間中に、S.M.A.R.T.の警告が出たかを確認する。		推奨する対処法: すぐにデータのバックアップを取り、ハードディスク ドライブの交換方法をHPサポートにお問い合わせください。 http://www.hp.com/go/kayaksupport 38 ページを参照。
ハードディスク ドライブ クラッシュがある場合...		45 ページの「ハードディスク ドライブの内容のリカバリ」を参照。
問題が続くようなら、HPサポート、またはHP指定販売店にご連絡ください。		

シリアルまたはパラレル ポートにテスト エラーがある場合

注記

カバーを取り外す前に、ディスプレイと PC ワークステーションの電源スイッチは必ずオフにしてください。

電源コード、および、アクセサリ ケーブルはすべて外します。点検が完了したら、PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードとアクセサリ ケーブルを再び接続します。PC ワークステーションが正しくブートされることを確認します。

症状...	確認事項...	確認方法...
POSTでポート テスト エラーが表示される。	ポートが、セットアップ プログラムで正しく構成されていること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 PC ワークステーションの電源スイッチを一旦オフにしてから、再びオンにする。 2 メッセージ「Press F2 to Enter Setup」(F2 を押すと、セットアップに入ります)が表示されたら、[F2] キーを押す。 3 ポートが有効で、「アドバンスト」メニューの[Integrated I/O Ports](内蔵 I/O ポート)で、正しい設定が選択されていることを確認する。
	接続されているデバイスがすべて、正しく接続され、電源スイッチがオンになっていること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 PC ワークステーション背面パネルにある所定のコネクタにケーブルを接続する。 2 PC ワークステーションと外部デバイスの電源スイッチをオンにする。
	正しいデバイス ドライバ類がインストールされていること。	各デバイスの説明書を参照。
PCにまだ問題がある場合...		
BIOS(Basic Input Output System)のアップデートが必要かもしれない。		起動ディスクを作成して、BIOS をアップデートする。33 ページを参照。
	確認事項...	確認方法...
	システム ボードが機能していること。	<ol style="list-style-type: none"> 1 システム ボードを、同じモデルのPCワークステーションから取り出した機能確認済みのボードと交換する。 2 PC ワークステーションのカバーを取り付け、電源コードを再び接続し、PC ワークステーションが機能することを確認する。 3 ポートが機能する場合は、HP サポート、または HP 指定販売店に連絡して、詳細なトラブルシューティング情報をお尋ねください。
問題が続くようなら、HP サポート、または、HP 指定販売店にご連絡ください。		

構成の問題

PCワークステーションの電源をオフにできない場合

PCワークステーションの電源をオフにできない場合

症状...	確認事項...	確認方法...
電源スイッチを押すと、PCワークステーションからはブザーもビープ音もしないのに、電源をオフにすることができない。	データをすべて保存し、すべてのプログラムを終了していること。	1 データをすべて保存し、すべてのプログラムを終了する(可能な場合)。 2 電源スイッチを押し、そのまま5秒間押し続ける。PCワークステーションの電源がオフになる。 3 電源コードを外す。

パスワードを忘れてしまった場合

注記

セットアップ プログラムを使ってパスワードをセットした場合は以下の方法を用います。

症状...	解決策...
ユーザ パスワードを忘れてしまった。	1 PCワークステーションの電源スイッチをオフにする。 2 PCワークステーションを再起動する。パスワードを求められたら、管理者パスワードを入力する。 3 メッセージ「Press F2 to Enter Setup」(F2を押すと、セットアップに入ります)が表示されたら、[F2]キーを押す。 4 管理者パスワードを入力して、セットアップ プログラムにアクセスする。 5 [Security](セキュリティ)メニューに進む。 6 [Set User Password](ユーザ パスワードの設定)フィールドに進み、新しいユーザ パスワードを設定する。これで、忘れてしまった古いパスワードが置き換えられる。 7 [Esc]、または[F3]を押すか、または、「Exit Menu」(メニューを終了)を選択して、新しいパスワードを保存し、セットアップを終了する。
管理者パスワードを忘れてしまった	1 PCワークステーションの電源スイッチをオフにし、電源コードを外す。 2 PCワークステーションのカバーを取り外す。 3 システム ボード上のスイッチ ブロックのスイッチ9をON側にセットする。 4 電源コードを接続し、PCワークステーションを再起動する。 5 「Passwords have been cleared」(パスワードはクリアされました)というメッセージが画面に表示されたら、PCワークステーションの電源スイッチをオフにする。 6 電源コードを外して、スイッチ9を元のOFF側に戻す。 7 PCワークステーションのカバーを取り付ける。 8 PCワークステーションの電源スイッチをオンにし、スタートアップ ルーチンを完了させる。 9 POST(パワーオン セルフ テスト)が完了した後、セットアップ プログラムを使用するかどうかのプロンプトが出たところで[F2]キーを押す。 10 管理者パスワードと新しいユーザ パスワードを設定する。 11 [Esc]、または[F3]を押すか、または、「Exit Menu」(メニューを終了)を選択して、新しいパスワードを保存し、セットアップを終了する。

PCワークステーションにオーディオの問題がある場合

症状...	解決策...
どんなアプリケーションを実行しても、音が出ない	Windows NT 4.0を使用している場合、音量、ミュート、バランスの設定を確認する。詳しくは、オペレーティング システムのドキュメントを参照。 サウンドの欠落は、ハードウェアの競合によっても発生する。ハードウェアの競合は、2つ以上の周辺装置が同一の信号ラインまたはチャンネルを取り合う場合に起こる。オーディオ インタフェースとその他の周辺装置との間の競合は、I/O アドレス、IRQ チャンネル、あるいは DMA チャンネルの設定に起因する。この競合を解決するには、システムのオーディオ インタフェース、またはその他の PCI アクセサリどちらかの設定を変える。
マルチメディア／オーディオ用 CD-ROM を再生しても、音が出ない。	CD-ROM ドライブの音量調整が正しくセットされているか、または、CD-ROM ドライブ用のオーディオ ケーブルがシステム ボード上のコネクタに正しく接続されているかを確認する。ヘッドフォンやスピーカを使っている場合は、それらが正しく接続されていることを確認する。オーディオ アクセサリの接続については、お使いの PC の『ユーザ ガイド』を参照。
8 ビット、または 16 ビットのデジタル サウンドの出力ができない。	この現象は、選択された DMA チャンネル、または割り込みの競合による可能性がある。お使いのオペレーティング システムのオーディオ コントロール ソフトウェアを使用して、オーディオ インタフェースの DMA チャンネル、または IRQ の設定を変更する。
マイクからのオーディオ入力レベルが低すぎる、または入力が無い。	マイクの仕様が 16 ビット サウンド コンポーネントの要件にあっているかを確認する。マイクは、600 Ω のエレクトレット タイプであること。
バック サウンドを再生していると、ときどきパチパチ音がする。	こうしたパチパチ音は、通常、その PC がオーディオ サンプルを所定の時間内に転送できないことに起因する。サンプリング レートを低くして使うというのが 1 つの解決策である。22kHz を用いた録音と再生は、44kHz でのオーディオ録音よりも、システム リソースへの要求は低くなる。
録音中に PC がハングする	圧縮されていないデジタル オーディオが、最終的にハードディスクをいっぱいにする可能性がある。例えば、ステレオサウンドが 44kHz の分解能で 1 分間録音されると、約 10.5MB を占有することになる。録音の前に、ハードディスクに十分な空きスペースが有ることを確認する。 データ圧縮により、必要なスペースを減らすことが可能。オーディオ インタフェースに使用される A-law や m-law 方式のハードウェア圧縮により、16 ビット分解能サウンドのサンプリングが可能だが、生成されるデータ量は 8 ビット サンプリングと同じとなる。
新しいアドオン サウンド カードが機能しない。	アドオン サウンド カードをインストールする場合、PC ワークステーションに内蔵のサウンド機能を無効にする必要がある。 次のいずれかの方法で行う。 セットアップ プログラムから、リブート直後 Kayak ログが画面に表示されたところで [F2] キーを押し、[アドバンスト] メニューから [Integrated Audio Interface] (内蔵オーディオ インタフェース) を選択する。このオプションを無効にする。 内蔵サウンドを無効にするには (Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0 上で)、[スタート] メニューから、[コントロール パネル] を選択し、[マルチメディア] から [アドバンスト] をクリックする。「オーディオ デバイス」アイコンをクリックして、「このデバイスのオーディオ機能を使用しない」のラジオ ボタンを選択する。

構成の問題

PCワークステーションにソフトウェアの問題がある場合

PCワークステーションにソフトウェアの問題がある場合

症状...	解決策...
緑の電源インジケータが点灯するが、実行できないソフトウェアがある。	<ul style="list-style-type: none">アプリケーション ソフトウェアのドキュメントおよび/またはオペレーティング システムのドキュメントを参照。ソフトウェアは動いているが、正しく機能しない場合は、すべての保存されていないデータを保存した後、アプリケーションを終了させて再起動させる。それでも機能しない場合は、PCワークステーションを再起動し、そのソフトウェアをもう一度起動させる。ソフトウェアをインストールし直す。問題が続くようなら、ソフトウェア メーカーのサポート サービスに問い合わせる。
日付と時刻が正しくない。	日付と時刻を変更するために、オペレーティング システムのユーティリティ、またはセットアップ プログラムを使用する。必要に応じて、新しい電池に交換する(『ユーザ ガイド』の第2章を参照)。
それでもまだソフトウェアの問題がある場合は...	
	HP DiagTools を実行して、ハードウェア構成をチェックする。41 ページを参照。

PCワークステーション クロックが時刻を正しく 保持できない場合

警告

バッテリーは誤ってセットすると破裂する恐れがあります。安全のため、バッテリーを充電したり、分解したり、火中に投げたりしないでください。バッテリーはバッテリーの製造元が推奨している種類のものと交換してください。本PCに装着されているバッテリーは、重金属を含有しないリチウム電池です。ただし、環境保護のため、使用済みのバッテリーを廃棄する際は、一般のごみと一緒にしないでください。使用済みバッテリーは、バッテリーを購入された小売店、PCワークステーションを購入された販売店、または、当社など、適切な方法でリサイクルまたは廃棄が可能なところにご返却ください。電池は、無料で回収されます。

PCワークステーションの構成設定がたびたび失われる場合、バッテリーの交換が必要となります。CR2032 ボタン型のマンガン/リチウム電池と交換します。この電池は、どのPCワークステーション販売店でも入手できます。

電池の交換方法:

- 1 PC ワークステーションの電源コードを外し、通信ネットワークとの接続をすべて外します。
- 2 PCワークステーションのカバーを取り外します。
- 3 使用済みバッテリーは、固定クリップの下からスライドさせて取り外します。
- 4 新しいバッテリーをバッテリー ホルダに挿入し、正しく入っていることを確認します。バッテリーをクリップでしっかりと固定します。
- 5 カバーを取り付け、すべてのケーブルと電源コードを再び接続します。
- 6 スタートアップ時に[F2]キーを押して、セットアップ プログラムにアクセスし、PCワークステーションを再構成します。

ユーロ シンボル 使用上の問題がある場合

お使いのキーボードにユーロ シンボル のキーがある場合、この機能をサポートするオペレーティング システムとアプリケーションでしか使用できません。

- Windows 98などの、最新のオペレーティング システムだけがユーロ シンボル を完全サポートしています(いくつかの言語に限定)。
- ユーロ記号をサポートしていないアプリケーションもあります。
- ユーロ文字のないフォントもあります。

Windows 95およびWindows NTをお使いの方へ

Windows NT 4.0およびWindows 95では、完全なサポートは提供されていません。ユーロ シンボル のサポートを可能にする方法の詳細については、以下のMicrosoftのWebサイトをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/windows/euro.asp>

キーボードの構成

キーボードを構成するには、[スタート] メニューの設定から [コントロール パネル] へ進みます。[キーボード] をダブルクリックし、[キーボード プロパティ] ウィンドウで [言語] または [地域の入力] を選択します。[追加] をクリックし、お使いのキーボードに対応した国を選択し、[OK] をクリックします。さらに [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を終了します。

BIOS問題のトラブルシューティング

BIOSは、PCワークステーションの基本的な操作特性を与えるプログラムルーチンの集まりです。お使いのPCワークステーションの多くの問題は、このBIOS (Basic Input Output System) をアップデート(フラッシュ)することで解決できます。

注記

BIOSに変更を加える前に、システム セットアップの内容をメモしておくことをお勧めします。

BIOSのアップデート

お使いのPCワークステーション用の最新のシステムBIOS(標準のフラッシュ オペレーション)は、HPのサポート Web サイト <http://www.hp.com/go/kayaksupport> からダウンロードできます。BIOSのアップデート方法については、ダウンロードしたBIOS ファイル、および、BIOS フラッシュ ユーティリティと一緒に提供されます。

BIOS デフォルト設定に復帰

ハードウェア エラーと疑われるものは、BIOS および構成の問題に起因する場合があります。BIOS の設定が間違っていると思われる場合は、以下の手順に従って、BIOS をそのデフォルト設定に復帰させます。

- 1 PC ワークステーションを再起動した直後、最初の「Kayak」ロゴが表示されている間に、**(F2)**を押して、セットアップ プログラムにアクセスする。
- 2 **(F9)**を押して、セットアップ プログラムからデフォルト設定をロードする。
- 3 メインメニューで、**[Reset Configuration Data]**(構成データのリセット)を**[Yes]**にセットする。BIOSに変更を加える前に、システム セットアップの内容をメモしておくことをお勧めします。

構成の問題

BIOS問題のトラブルシューティング

CMOSのクリア

- 1 PC ワークステーションの電源スイッチをオフにし、電源コードとデータ ケーブルを抜き、カバーを取り外します。
- 2 システム ボード上のスイッチ8をON側にセットして、CMOSメモリをクリアします。
- 3 カバーを取り付けて、電源コードだけを接続します。
- 4 PC ワークステーションをリブートします。以下のようなメッセージが表示されます。
"Configuration has been cleared, set switch Clear to the ON position before rebooting."
- 5 PC ワークステーションの電源スイッチをオフにし、電源コードを抜き、カバーを取り外します。
- 6 システム ボードのスイッチ8をOFF側にセットして、その構成を保存します。
- 7 カバーを取り付けて、電源コードとデータ ケーブルを接続します。
- 8 PC ワークステーションの電源スイッチをオンにします。**(F2)**を押して、セットアップ プログラムを実行させます。そこで**(F9)**を押すと、CMOSのデフォルト値が自動的にダウンロードされて保存されます。
- 9 **[Esc]**を押して、構成を保存し、セットアップ プログラムを終了します。

BIOSのリカバリ (クライシス モード)

何らかの理由で、BIOS がこわれ、標準のフラッシュが使用できない場合、BIOS リカバリ モード(例外的なBIOS リカバリ 処理)を使って、BIOS を復旧させます。

次の手順で行います。

- 1 起動ディスクを用意します。
- 2 BIOS ファイルをフロッピーディスクにコピーします。
- 3 以下のテキスト 1 行を含む AUTOEXEC.BAT ファイルを作成(または編集)します。
"phlash /c /mode=3 /s IC1105US.FUL"
- 4 BIOS ファイル名をフロッピーディスク上のものと同じファイル名に変更します。
- 5 PC ワークステーションをシャットダウンします。
- 6 PC ワークステーションの電源スイッチをオフにし、電源コードを抜きます。
- 7 カバーを取り外します。
- 8 スイッチ **7** を **ON** 側にセットします。
- 9 フロッピーディスクをフロッピーディスク ドライブに挿入します。
- 10 電源コードを接続して、PC ワークステーションの電源スイッチをオンにします。
- 11 PC ワークステーションをフロッピーディスクからブートしてから BIOS をフラッシュします。しかし、フラッシュ処理の間は、画面に何も表示されないことに留意する必要があります。
- 12 ビープ音が4回鳴ると、リカバリ処理は終了となります。
- 13 PC ワークステーションの電源スイッチをオフにします。フロッピーディスクをドライブから取り出し、電源コードを外します。
- 14 スイッチ **7** を **OFF** 側に戻します。
- 15 カバーを取り付け、電源コードを接続し、PC ワークステーションをリブートします。

システム ボード スイッチ

構成に使用する1から10までの番号が付いたシステム ボード スイッチが10個あります。このうちのいくつか(スイッチ 1、2、3、4、5)は、予約済みですので変更しないでください。変更すると、システム障害を招きます。

スイッチ	デフォルト 設定	機能：
1-5	OFF	予約済み。デフォルト設定を変更しないこと。
6	ON	スペースバーを使つてのキーボードからの電源オンが有効。 OFF にすると、このオプションは無効。
7	OFF	ノーマル モードが有効。 ON にすると、次のブートで BIOS リカバリ モードが有効。
8	OFF	CMOS メモリを保持。 ON にすると、次のブートで CMOS メモリをクリア。
9	OFF	ユーザおよびシステム管理者パスワードが有効。 ON にすると、次のブートでパスワードをクリア。
10	ON	シャーシ タイプを選択。 ON = ミニタワー

注記

初期の少数の HP Kayak XM600 は、構成スイッチが 20 個あるシステム ボードを搭載しています。11 から 20 までのスイッチは予約済みで、12、13、15、16 を ON に、その他を OFF にセットする必要があります。

HP セットアップ プログラムの使用法

セットアップ プログラムにより、パスワードや、ブート デバイスの順番など、お使いのPCワークステーションの構成を調べたり、変更したりすることができます。

以下に示す方法に従って、構成をチェックします。

最初に、PCワークステーションの電源をオンにするか、または再起動します。

お使いのPCワークステーションの電源がオフになっている場合、ディスプレイの電源スイッチを入れてから、PCワークステーションの電源スイッチを入れます。

PCワークステーションの電源がすでにオンになっている場合、データを保存して、プログラムをすべて終了させ、PCワークステーションを再起動します。Windows NT 4.0、Windows 95、または、Windows 98 の場合、[スタート]メニューから[シャットダウン]、[コンピュータを再起動する]を選択します。これにより、オペレーティング システムが自動的に終了した後PCワークステーションが再起動します。

セットアップ プログラムに入るために

セットアップ プログラムに進むには、「Kayak」ロゴがディスプレイに表示されている間に、[F2] キーを押します。

ドライブに関するトラブルシューティング情報

ここでは、お使いのドライブまたはアクセサリ ボードの問題を解決するためのより詳しい情報を提供します。

警告

カバーを取り外して、ケーブル接続やジャンパの設定を点検する前に、電源コード、および通信ケーブルを、お使いのコンピュータから必ず外してください。

感電したり、レーザ光線で眼を傷めることのないよう、**CD-ROM**ドライブの内部を開けないでください。**CD-ROM**ドライブの保守は、サービス担当者だけが行うようにしてください。必要な消費電力量と波長については、**CD-ROM**のラベルをご参照ください。このPCワークステーションは、クラス1レーザ製品です。レーザユニットの調整は一切行わないでください。

ハードディスクに問題がある場合

- 1 TopToolsからか、またはPOST(パワーオンセルフテスト)中に、**S.M.A.R.T.** 警告を受け取った場合、ハードディスク ドライブに問題があると考えられます。すぐにデータのバックアップをとり、HPサポートにご連絡ください。
- 2 ディスクの電源ケーブルとデータ ケーブルが正しく接続されていることを確認します(ケーブルとコネクタに関しては、『ユーザ ガイド』の第2章を参照)。
- 3 ハードドライブからのブートが、スタートアップ時に **[F2]** キーを押してアクセスする、**Setup**プログラムの**[Boot]**メニューで無効とされなかったことを確認します。
- 4 ハードディスク ドライブが検出されたことを確認します(スタートアップ時に**[F2]**キーを押してアクセスする、**Setup**プログラムの、**[Boot]**メニューの中でハードディスク ドライブのサブメニューを参照してください)。
- 5 **Scan Disk**および**Disk Defragmenter**を実行し、ハードディスク ドライブの問題を検出できるかを確認します。これらのユーティリティにアクセスするには、**[スタート]**メニューから、**[プログラム]-[アクセサリ]-[システム ツール]**を選択します。
- 6 **HP DiagTools**のアドバンスド システム テストオプションから、**IDE**または**SCSI**テストを実行します(41ページを参照)。

PCワークステーションがハードディスク ドライブにアクセスしているのに、ハードディスクの動作ライトが点滅しない場合:

- 1 コントロール パネルのコネクタがシステム ボードにしっかり接続されていることを確認します。
- 2 ディスクの電源ケーブルとデータ ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

CD-ROM、DVD、またはCD-RW ドライブに問題がある場合

CD-ROM、DVD、または CD-RW ドライブが機能しない場合

- 1 ドライブにメディアが挿入されていることを確認します。
- 2 すべてのケーブル (データ、電源、オーディオ) が、ドライブとシステム ボードの両方に正しく接続されていることを確認します。
- 3 Setupプログラム(スタートアップ時に[F2]キーを押してアクセス)でドライブが検出されていることを検証します。また、IDEセカンダリ マスタ、またはIDEセカンダリ スレーブのフィールドで宣言されたドライブを確認します。
- 4 CD-ROM を使ってブートをする場合、セットアップで、HDD の前に CD-ROMを置きます (HP Setupプログラムの[Boot]メニュー グループの中の、[Boot Device Priority](ブート デバイスの優先順位リスト)サブメニューを参照)。

DVD ドライブで、DVD ビデオを再生できない

- 1 再生しようとするDVDディスクとDVDドライブの 地域コードの設定が同じであることを確認します。

注記

DVD ドライブの地域コード設定は、ドライブに挿入した最初のDVDディスクによって設定されます。

- 2 システムにソフトウェア MPEG デコーダがインストールされていることを確認します。

CD-ROM、DVD、または CD-RW ドライブがアイドル状態になっている

ドライブが動作しているように見えない場合、ドライブのアイコンをクリックするか、またはオペレーティング システムが割り当てたドライブ文字をクリックして、ディスクへのアクセスを試みます。

CD-ROM、DVD、または CD-RW のドアが開かない

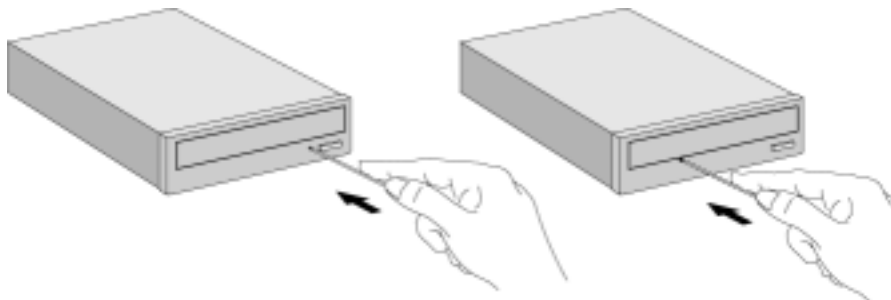
ドライブからディスクを取り出すのが困難な場合には(例えば、電源の障害中など)、手動取り出しボタンを使用できます。

手動取り出しボタンを使ってCD-ROMを取り出す:

構成の問題

ドライブに関するトラブルシューティング情報

- 1 ペーパークリップの端など、細くて堅い棒を使って、**CD-ROM** ドライブの手動取り出しボタンを押します。次の図は、手動取り出しボタンのある2つの一般的な位置を示しています。



- 2 **CD-ROM** ドライブのドアのロックが開放され、わずかに開きます。ドアを十分に引き出してから**CD**を取り出します。
- 3 **CD-ROM** ドライブのドアを閉じるには、無理に力を入れず注意深く、丁寧に押して閉じます。**CD-ROM** ドライブのドアは、完全に機能(例えば、電源が復旧するなど)するまでは閉じないことがあります。

HP DiagToolsによるトラブルシューティング

HP DiagToolsは、潜在的なハードウェア関連の問題を診断するのに役立つ、正確で信頼性の高いユーティリティです。このユーティリティを使って、次の診断が可能になります。

- ハードウェア構成をチェックし、正しく機能しているかを検査する。
- 個々のハードウェアコンポーネントをテストする。
- ハードウェア関連の問題を診断する。
- 完全なハードウェア構成を知ることができる。
- **HP サポート担当者**に、正確な情報を提供し、問題を迅速かつ効率的に解決できるようにする。

このユーティリティの詳細については、**HP Web** サイトにある **PDF (Adobe Acrobat)** 形式の『Hardware Diagnostics User's Guide』をご参照ください。

HP DiagToolsの入手先

HP DiagToolsは以下のソースから入手可能:

- ハードディスク ドライブにある **HPユーティリティ パーティション**。
- お使いのコンピュータに付属の **Image Creation and Recovery CD-ROM**。
- 下記 **HP Web** サイトから入手した **HP DiagTools** の **CD-ROM**
<http://www.hp.com/desktops/diagtools>

HP DiagToolsを使用する前に

この診断ユーティリティの実行を、ハードディスク ドライブ上の **HPユーティリティ パーティション** を使用して行うか、または **CD-ROM** オプションのどれかを使用して行うかを決定します。**Setup** プログラムで以下の設定がどのようになっているかをチェックすることをお勧めします。

- セットアップの **[Main]** メニューで、オペレーティング システム (**PnP O/S**) の選択項目が **[No]** になっている。ここで、オペレーティング システムが **plug-and-play** (例えば、**Windows 95** と **Windows 98**) なのか、そうでない (**Windows NT 4.0** は、**plug-and-play** システムではない) のかを設定する必要があります。

CD-ROMから診断を行う場合、次の設定についても確認する必要があります。

- ❑ Securityメニューで、[Hardware Protection]項目のすべてを、[Enabled](有効)または[Unlocked](適用可能な場合)にセットします。また、[Booting from the CD-ROM](CD-ROMからのブート)も、有効になっていることを確認します。
- ❑ [Boot]メニューで、そのCD-ROMドライブが、[Boot Device Priority List](ブート デバイスの優先順位リスト)のなかで、ハードディスク ドライブより上位に置かれていること。

上記の設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。また、Setupプログラムに対して何か変更する場合には、その記録をとっておくことをお勧めします。

HP DiagToolsの起動

ハードディスク ドライブ(HPユーティリティ パーティション)からの起動:

- 1 開いているアプリケーションをすべて閉じます。
- 2 再起動オプションで、PCワークステーションをシャットダウンします。
- 3 Kayakのスタートアップ ロゴが表示されると、次のメッセージが数秒間表示されます。[Press <F10> to start Hardware diagnostics, or any other key to proceed]
(F10を押すと、ハードウェア診断を起動します。他のキーを押すと処理を続けます。)
F10キーを押して、HP DiagToolsを起動します。
- 4 DiagTools が起動すると、ウェルカム画面が表示されます。画面上の指示に従って、診断テストを実行します。ここで実行可能な各種テストについては、47ページで説明されています。

Image Creation and Recovery CD-ROM、または、HP DiagTools CD-ROMのいずれかからの起動:

- 1 CD-ROMドライブにCD-ROMを挿入し、コンピュータを再起動します。
- 2 F8キーを押して、ブート順位 リストからCD-ROMを選択します。
- 3 PCワークステーションが、CD-ROMから起動されます。
Image Creation and Recovery CD-ROMを使用する場合、メニューが表示されます。DiagTools実行のオプションを選択します。
- 4 DiagTools が起動すると、ウェルカム画面が表示されます。画面上の指示に従って、診断テストを実行します。ここで実行可能な各種テストについては、次のページで説明されています。

HP DiagTools のハードウェア テスト

HP DiagToolsから、次のハードウェア テストを実行できます。

- ❑ **Hardware Detection (ハードウェアの検出)**
システムの全てのハードウェア構成 (PC ワークステーションモデルとそのバージョン、プロセッサのタイプ、キャッシュ メモリ、BIOS のバージョン、メイン メモリの総容量、IDE/SCSI デバイス リスト、ビデオ アダプタ、オーディオ カード、キーボード、USB コントローラを含む) を自動的に検出し、どんなテストを実行するのが適切なのかを判断します。
- ❑ **Basic System Tests (基本システム テスト)**
PC ワークステーションの各種ハードウェア コンポーネントの正しいオペレーションを、自動的に検証します (ユーザ入力不要)。警告メッセージが表示される場合は、アドバンスド システム テストを用いて、そのエラーを調べる必要があります。また、システムの構成とテスト結果を記録しておくサポート チケットを作成することもできます。これについては、次のページで説明されます。
- ❑ **Advanced System Tests (アドバンス システム テスト)**
PC ワークステーションのハードウェア コンポーネントのうち、選択したものについて個別にテストします。これにより、基本システム テストで実行したテストよりも完全なテストが行えます。また、アドバンスド システム テストは、基本システム テストが完了した後でなければ実行できないことにも留意してください。テストはそれぞれ、オンライン スクリーン メニューから選択し、何度でも繰り返すことができます。
例えば、ハードディスク ドライブに疑わしい点がある場合、ハードディスク ドライブ テストを選択し、そこに示されているオプションの1つを選択します。テストが失敗すると、サポート チケットを作成できますが、これについては次のページで説明されます。

上記のテストとエラー コードに関する詳細については、HP Web サイトで入手可能なPDF (Adobe Acrobat) 形式の『Hardware Diagnostics User's Guide』をご参照ください。

サポート チケットの作成

お使いのシステム構成とテストの結果についてのすべての記録を作成するには、サポート チケットを作成する必要があります。

ハードディスク ドライブからHP DiagToolsを使用している場合、サポート チケット ファイルを保存するためのフロッピーディスク ドライブが必要です。また、CD-ROMからHP DiagToolsを使用している場合、サポート チケット ファイルは、ハードディスク ドライブ、またはフロッピーディスク ドライブのどちらかに作成できます。**Support Ticket Viewer** プログラムを使って、サポート チケット ファイルを表示または印刷することができます。

サポート チケット ファイルは、電子メールまたはfaxで、お近くのHPサポート担当者までお送りください。

セットアップ値のリセット

上記の手順を完了したとき、コンピュータを再起動する前に、**Setup**プログラムで変更した設定を、元の設定に戻す必要があります。設定値が正しくないと、システム ブートに失敗することがあります。このようなことが発生した場合には、**Setup**プログラムの実行中に **F9** キーを押して、デフォルト値をロードします。

このユーティリティにより、テストの実行が可能になる前に、お使いのシステムの全ハードウェア構成を自動的に検出できます。

ハードディスク ドライブのリカバリ

ハードディスク クラッシュが万一発生した場合には、お使いのPCワークステーションに付属の「PC Image Engineer – Image Creation and Recovery CD-ROM」¹を使って、PCワークステーションにプリロードされていたオペレーティング システムとソフトウェアを修復することができます。「Image Creation and Recovery CD-ROM」で使用可能な機能のいくつかを次に示します。

- **Full Recovery (完全リカバリ)**
オペレーティング システム、ドライバ、ユーティリティおよび、スペシャル ディスク パーティションを、デフォルトで提供されたとおりに復旧します。また、フルリカバリでは、マスタブートレコード上にウィルスが発見された場合も、自動的に削除します。しかし、この機能により、ハードディスク ドライブは初期化されます。可能な場合は、**すべてのデータ**ファイルとインストールしたソフトウェアを保存しておくことを強くお勧めします。
- **Minimal Recovery (最小限リカバリ)**
オペレーティング システムとSCSIハードディスク ドライブにアクセスするためのSCSIドライバだけを復旧します。
- **Partial Recovery (部分リカバリ)**
CD-ROMのbrowseable area (閲覧可能領域)で提供されている個々のドライバを復旧します。
- **Copy OS Master Files (OS マスタ ファイルのコピー)**
ドライバを追加してインストールする際に、オペレーティング システムのメディアを挿入するよう Windowsから指示された場合に使用します。
- **HP DiagTools**
システム構成と運用を点検します。また、41 ページもご参照ください。

注記

PC ワークステーションのご購入後にインストールされたソフトウェアおよび PC ワークステーションにインストールされたアプリケーションにより作成された個人データについては、このリカバリ プロセスでは復旧できません。

Full Recovery オプションを使用する場合、PCワークステーションの購入後にインストールされたハードウェアについても、必要なドライバを再インストールする必要があります。ハードウェアが取り外された場合には、不要なドライバの削除が必要になることもあります。

リカバリ、アップグレードまたはダウングレードの方法は、PCワークステーション付属の『Kayakユーザーズ ガイド』をご参照ください。

1. モデルによっては、「Image Creation and Recovery CD-ROM」が付属していないものがあります。「Image Creation and Recovery CD-ROM」がない場合には、お使いのPCワークステーション付属の専用CD-ROMから、オペレーティング システムを再インストールします。再インストールが必要なドライバは、HPのサポートWebサイトからダウンロードできます。<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

ハードディスク ドライブのリカバリ

プリロードされていたドライブのリカバリ

「Image Creation and Recovery CD-ROM」を使って、PCワークステーションに同梱されていたドライブの再インストールを行うことができます。まず、CD-ROMドライブにCD-ROMを挿入します。自動的にHTMLファイルが表示されます。Webブラウザを使ってCD-ROM内を閲覧し、適切なドライブを探します。それぞれに対応するインストール プログラムをCD-ROMから直接実行してインストールします。

Windows NTサービス パックの再インストール

Full Recovery オプション、または、Minimal Recovery オプションを使用する場合には、PCワークステーションに付属のサービス パックが自動的に再インストールされます。

ハードディスクの変更

ハードディスクがこわれて使用できない場合は、新しいハードディスク ドライブに交換する必要があります。ハードディスク ドライブのインストールに関する情報は、お使いのPCワークステーションの『ユーザ ガイド』第2章をご参照ください。

交換するハードディスク ドライブが全くの新品である場合、ドライブのパーティションと初期化が必要となります。これは、「Image Creation and Recovery CD-ROM」を使って行うことができます。

その他の情報

トラブルシューティングに関するオンライン サポート

HPのサポートWebサイトには、PCワークステーションに関する問題のトラブルシューティングに役立つ広範囲なサポート資料があります。

- お使いのPCワークステーションに関するドキュメンテーション(後述します)
- BIOSのアップデート(アップグレード ユーティリティおよびアップグレード方法を含む)
- 最新のドライバおよびソフトウェア ユーティリティ

HPのサポートWebサイト:

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

ドキュメンテーション セットの概要

HPのWebサイトから、お使いのPCワークステーションのドキュメント類を無償でダウンロードすることができます。提供されるドキュメントは、Adobe Acrobat (PDF)形式になっており、HPのWebサイトから入手できます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

入手可能なドキュメントは、次のとおりです。

- **ユーザ ガイド** — お使いのPCワークステーションの最初のセットアップ方法、およびハードウェア コンポーネントのインストール方法と交換方法が説明されています。
- **技術情報** — お使いのPCワークステーションの、IRQ、DMA、I/Oアドレスを含む詳細情報を提供します。
- **Service Handbook Chapters** — HP部品番号を含む、交換部品に関する情報を提供します。
- **Technical Reference Manual** — システム ボード、チップセット、BIOSなどのシステム コンポーネントに関する技術情報。
- **トラブルシューティング ガイド** — 本ガイドのオンライン版。

また、HP Webサイトでは、入手可能なサービスおよびサポートに関する情報のすべてをご覧になれます。以下のアドレスで利用可能なサービスのすべてをご覧になれます。

<http://www.hp.com/go/kayak>

HPサポート サービスおよび情報サービス

HPのサービスおよびサポートに関する情報は、サポートWebサイトから入手できます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

HPサポートにご連絡いただく前に

HPサポートにご連絡いただく前に、以下の情報についてお書き留めください。これにより、迅速かつ効率的な問題解決が可能になります。

PCの詳細	
モデル番号	PCの右側にあるラベルを参照。
シリアル番号	PCの右側にあるラベルを参照。
RAM <ul style="list-style-type: none">インストールされているMB数HP製RAMか、その他のメーカーのRAMか	RAM <ul style="list-style-type: none">HP製でないRAMとの互換性に問題がある場合があります。RAMの容量は、LCDステータス パネルのSystem Infoの [Sys Info] メニューに表示されます。HP製でないRAMとの互換性に問題がある場合があります。HPでサポートし、推奨するのは、HPのメモリ モジュールに限ります。
疑問点または問題点	
問題について、簡単な説明を記載してください。	
頻度	問題はどの程度の頻度で発生しますか？
実行は可能ですか？	PCはどのくらいの時間、正常に処理できましたか？
PCに対する最近の変更点	PCで、最近何か変更しましたか？
ハードウェアの構成	
どのバージョンのBIOSを使用していますか？	BIOSのバージョンは、スタートアップ時に [F2] キーを押すことにより、Setup プログラムの [Main] メニューに表示されます。
BIOSのパラメータを何か変更しましたか？	問題は、Setup プログラムを使って、BIOSに変更を加えた後に発生しましたか？
追加したカード (例えば、LAN、サウンド、SCSIなど) が使用するスロットおよび割込みのリストの作成	この作業は割込みの競合を調べるためです。DiagToolsを実行して、IRQを確認することができます (45ページを参照)。
オペレーティング システム	
PCにプリロードされていた最初 のオペレーティング システム ソフトウェアを使っていますか？	
そうでない場合、そのオペレーティング システムのバージョンは？	[スタート] メニューから、[設定]-[コントロール パネル] を選択し、[システム] アイコンをクリックします。「システム」のところに、オペレーティング システムのバージョンが表示されます。
オペレーティング システムからのエラーメッセージがありましたか？	エラー メッセージの内容を正確に記録してください。
ブート (POST: パワーオン セルフ テスト) 中にエラーが発生しましたか？このテストで、インストールされているすべてのコンポーネントを点検します。	POSTエラーがある場合は、モニタ画面に表示されるか、または、ビーブ音で通知されます。